



## 10月の例会報告

出席者 倉石美津子、小林美彦、堀内雅俊、福島貴和、森本俊子

直前に体調を壊した勝田さん、ほかの会合と重なった玉木さん、小泉さん、仕事が抜けられない江守さんと、欠席が多い例会となった。直前に起きた台風19号による被害の情報を共有するとともに、長野クラブとしての対応を話し合った。各クラブからのお見舞いの言葉を披露、山田理事から十勝クラブのファン用の野菜セットをお送りいただけることを話した。延期になった「権バル」では、被災者への支援の「坊主バル」を企画している福島ワイズに、長野ワイズにも協力しようとか、12月14日のあずさ部会で、被害を受けたリンゴを使ってジャムやジュースを作ってもらおうなどと話した。(のちに、泥水をかぶったリンゴは使えないことが分かった。この件は後日倉石さんの友人のリンゴか森本がオーナーになっているリンゴで対応するつもり)

山梨YMCAのバザーに出品依頼があり、堀内さんと森本で本とCDを送ることにして後日宅配便で送った。堀内さんには、長野県が主催し駒ヶ根市で開催する「感染症医療従事者研修会」にクラブとして行っていただくことになった。

最後に北原白秋の「祭り」という詩を群読してお開き。

(森本記)



### 近況報告

堀内雅俊ワイズ

26日に県の健康福祉部主催の「感染症医療従事者等研修会」が駒ヶ根の件看護大学で開かれ、①長野県におけるHIV感染症の発生動向、②中学生、高校生に対する性感染症予防教育の進め方の実践発表、③医療機関における外国人患者対応のポイントなどがテーマとなる研修会に参加させていただきました。

私は、①②に興味がありました。まず、最近のHIV・エイズの発生動向は、全国5年間で5%減少しています。長野県では減少傾向だったのにこの5年間昇傾向になっています。年代別では、長野県40代33%(全国では30代)が最多となっている。また、長野県ではエイズを発症した後医者に行き確認されています。②については、現場の声として、1.他の教員や管理職の理解が得られない。2.地域保健との協力の敷居が高い。3.家庭でも性教育をしてほしいが保護者にどのように伝えたらいいのか。従来の性教育は婚前教育として生殖性を中心とした純潔教育と月経教育が中心だった。今日の性教育は「生きる」教育が必要であり「生と性の教育」が求められている。インターネットなどの情報の洪水の中で家庭や地域社会の教育力が低下し、学校教育への依存度が増加している。結論的に基本的な子どもへのメッセージは=生命の大切さと愛する心であり、あなたの生き方はあなたが選ぶことの二点だと言っている。私の感想としては、一時期聞こえてきた人形を使ってのセックス教育はさすがにやっていないようなのでほっとした。また、あなたの生き方はあなたが選ぶということに対して危惧を感じました。小中学生が選んでいくことができるキチンとした教育指導ができると考えていると思うと怖くなる気がいたしました。貴重な研修会に出席できたことを感謝いたします。

ありがとう、さようなら。連雀の会館

秋も深まり、いよいよ現在の YMCA 会館で過ごせる日々が少なくなってまいりました。今年の秋は台風などによる水害が相次いで、老朽化進む会館も例年になく雨漏りに悩まされました。あと半年、何とか持ちこたえて、と願うばかりです。1972 年から使い始めて 47 年間、約半世紀をこの甲府市の連雀問屋街の地に立ち続け、青少年のために特別な空間として存在し続けてくれました。毎年雨風にさらされながら、夏は猛暑、冬は豪雪にも見舞われたこともありましたが、山梨 YMCA40 年史「荒野に水わきいで」を紐解くと、第 7 章の「青少年センター完成までの経過」として、大澤英二理事長によって当時の様子がまとめられています。この施設は「青少年の間に神の国を拡張するための聖なる業に預かっているというひそかな恐れと喜びとが根底にあった」とあります。高度経済成長真っただ中の時代です。山梨 YMCA もその勢いに乗ってこの会館を完成させ、その後、英語学校を中心に、体育、音楽、つぼみぐる〜ぷ、野外活動などの事業が聖なる業として運営されていくこととなります。ワイズメンも甲府クラブが 30 周年を迎え、活気に満ちた時代に入っていきます。そんな歴史を静かに見守り続け、支えてくれたこの会館が、いよいよ終わりの時を迎えるのかと思うと感慨もひとしおです。21 世紀に入ると町の衰退に合わせるかのように YMCA 会館も勢いを失いました。特に 10 年前はすべての事業が低調で減少の一途を辿っていました。でも神様が YMCA を見放すはずがありません。ここ数年、プライムタイムやぶどうの木、きらきら教室などが軌道に乗り始めました。特に夕暮れ時は子供たちで活気にあふれ、まるで会館が取り壊しの気配を悟って有終の美を飾ろうとしているような気さえます。連雀の会館、本当にありがとう！この地で得た賜物をそのまま新会館で行われる各事業に、神の国拡張という使命と共に、感謝して引き継いでいくことを責務と感じます。スタッフ一同「恐れと喜び」を胸に秘めながら、最期の最期の日まで有意義な時間をかみしめていきたいと思っています。



### これからの予定

10 月 26 日(土) 県主催感染症医療従事者等研修会  
駒ヶ根市看護大学  
11 月例会は 20 日(水) レストランやま  
11 月 21 日(木) 商工会議所異業種交流会にて卓話  
12 月 14 日(土) あずさ部会、アジア賞授賞式、  
松本深志神社  
12 月 18 日(水) 例会(クリスマス)  
お友達を呼ぼう

### クラブ費の振り込みをお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。  
今年度後期会費(7月~12月) 18000 円のお振り込みをお願いします。(1 年分は 36000 円です)  
八十二銀行 昭利通営業部番号 214)  
普通預金 □座番号 871118  
長野ワイズメンズクラブ会計  
倉石美津子